

第2回桑折町半田山フォトコンテスト 2023 講評

【全体】

昨年の第一回はテーマを秋に限定したため写真のバリエーションが少なかったが、今回は四季の写真がそろった。ただ昨年同様、風景写真が圧倒的に多かったのはやや以外だった。半田山の周辺には山野草がたくさんあるので、マクロ的視点の作品がもっと見たかった。人が写る写真ももっとあっても良いと感じた。

【写真の部】

最優秀賞の浅野 景一さんの作品は、半田山の頂上から桜が真っ盛りの半田沼を撮った。このコンテストに最もふさわしい作品だろう。「恋の聖地」のタイトルも良い。

優秀賞の毛利 周一さんの「群れ咲くシラネアオイ」はこちらも半田山のシンボルと言っても良い花をうまく撮っている。この密集感を出すにはテクニックがいる。

武田正敏さんの作品「天使降りるかな」は光芒が美しい。同時応募の作品とどちらが優れているか審査委員によって意見が割れた。

旗野宣久さんの「新緑の森のキビタキ」はただのアップではなくボケも美しい。このような写真が増えてくれると半田山の魅力をもっと発信できるのではないか。

うぶかの郷賞は長谷部孝太郎さんの「ひとりハロウィン」が選ばれた。緑一色の中にオレンジ色のポンチョが鮮やか。しかし、あえて小さくすることで良いアクセントになった。

【Instagramの部】

最優秀賞の terayu_10 さんの作品は森林の中、気持ちよさそうに両手を広げる女性の後ろ姿がポイントになっている。インスタらしいおしゃれなイメージが評価された。

優秀賞の ryuji_photo さんの写真は周辺の住宅も写っているなど、応募作の中では異色だった。朝日が上る中、霧がかかる幻想的な風景を切り取った。

yoshiharu.925 さんの作品は紅葉が美しい半田沼周辺を撮った。ここに人影がなかったら、まったく違った印象になっただろう。

うぶかの郷賞の yamayama2021050505 さんの作品も異色だった。役場担当者に場所を聞いて半田山山頂にあるほくらだと知った。非常に味わいのある作品。